



ロータリー方式の東口駅前広場

秋田駅東口駅前広場が完成 駅の玄関口が 新しく快適に

秋田駅の利用やバス、タクシィ、一般車などの乗り降りを便利にするために整備を進めていた秋田駅東口駅前広場が完成しました。

広場内の通行は、歩行者が車道を横断することなく、安全に移動できる「ロータリー方式」を採用しています。また、冬場でも快適に歩けるように融雪施設を設置しているほか、一部の乗降区間に雨よけの屋根も設置しています。

なお、広場内への一般車の駐車はできませんので、駐車する場合はアルヴェの有料駐車場などをご利用ください。

楢山地区コミセンを増改築

のびのび広々地域活動

「円形校舎」の愛称で、地域に親しまれていた楢山地区コミュニティセンターの増改築工事が完了しました。

四月二十三日に行われた完成祝賀会には地域のみなさん、約二百二十人が出席。新しく生まれ変わったコミュニティセンターの誕生を祝いました。

工事は、「円形校舎」の隣にあった女性学習センター(サンパル秋田に移転)にコミュニティセンターの機能を持たせる改装工事に始まり、「円形校舎」を解体後、その跡地に調理室、和室などを備えた平屋の居室棟を増築しました。調理室には三台の調理台があり、和室も四十二畳、二十八畳、二十一畳と三部屋あるので、用途に合わせて使いわけできます。

地域での活動もますます楽しみになりますね。

楢山地区コミュニティセンター

TEL(834)9844



祝賀会は新しくできた和室で行いました



左手奥が居室棟



2007 秋田わか杉国体・秋田わか杉大会 公式ポスター デザインを募集

平成19年秋田わか杉国体・秋田わか杉大会をPRする公式ポスターのデザインを募集します。スポーツの祭典にふさわしく、秋田県の魅力をアピールする作品をお寄せください。

応募締切は、7月29日(金)。細かな規定がありますので、詳しくは、秋田県国体・障害者スポーツ大会局大会総務課広報班へお問い合わせください。

問い合わせ

秋田県国体・障害者スポーツ大会局大会総務課広報班TEL(860)5208
<http://www.pref.akita.jp/kokutai/>



大規模コールセンター「CRファクトリー」 8月からスタッフ採用開始

県と市が新屋島木町の西部工業団地に誘致した、日本興亜損害保険株式会社「CRファクトリー」の現地採用事務所(開設準備室)が設置されました。「CRファクトリー」では、電話による商品の問い合わせや事故の受け付けなどを行います。来年5月操業の予定ですが、スタッフの募集活動は今年5月から、採用は今年8月から始めます。

採用計画や募集内容など詳しくは、5月17日(火)から、日本興亜キャリアスタッフ(株)秋田センター・CRファクトリー採用チーム(大町二丁目6-46 日本興亜損保 秋田支店ビル3階)へお問い合わせください。

TEL0120-212-786(平日の午前9時~午後6時)
<http://www.nkcs-haken.co.jp>

「CRファクトリー」について詳しくは広報あきた5月1日号4分をご覧ください。



秋田市で開催される競技：陸上競技、水泳、サッカー、テニス、体操、柔道、ライフル射撃、ラグビー、ゴルフ、高等学校野球、スポーツ芸術



秋田わか杉国体“888”日前！ みんなで一緒に カウントダウン！

四月二十四日、平成十九年に開催される秋田わか杉国体の「888日前」を記念して、アルヴェ多目的ホールでカウントダウンイベントが開かれました。

未広がりの「ハ」が三つそろって、縁起の良いこのイベントを盛り上げたのは、十一人の「ちびっこスギツチ」。秋田市で開催される「陸上競技」「水泳」「サッカー」など十一競技のパネルを持って、スギツチと一緒に元気に紹介してくれました。

カウントダウンボード(電光掲示板)の点灯式では、会場に集まったみんなと一緒に声を合わせて「サン、ニイ、イチ！」の大合唱。さらに、山王中学校の吹奏楽部による華やかな演奏に大きな拍手が送られ、会場にいるみんなの気持ちが一つになったようでした。国体まで待ちきれないっ！そんなそんな声が聞こえてきそうです。



山王中の演奏に会場からも大きな拍手！

カウントダウン電光掲示板は、市役所1階ホールに掲示しています。



スギツチ情報局

あれは44年前...

秋田市国体局総務企画課TEL(866)2830

体は一生に一度来るか来ないか」と言われていた時代でしたから、このチャンス逃すまいと、シヤッターを押す手にも力が入ったそうです。競技場は超満員。真っ青な秋晴れの空に舞う何百羽もの白い鳩。旗手を先頭に胸を張って元氣に行進する選手団。「沖繩」の旗が見えたときには「おやア、遠ざどつから来たごどオ」と会場が一瞬どよめいたそうです。高校生によるマスゲーム、そして大観衆の拍手喝采を浴びた竿燈の演技…まさにシャッターチャンスのオンパレード。



竿燈の演技に大歓声！（撮影は佐藤さん）

「感動」と「まごころ」 ファインダー越しに見た

佐藤哲郎さん(70歳・樽山)

昭和三十六年十月八日、よく晴れたその朝、佐藤さんはカメラを携え、自転車でも八橋陸上競技場に向かいました。手には、やっとのことと手に入れた、第十六回国民体育大会秋季大会入場券・開会式。カメラが趣味だった佐藤さん。当時は「国



佐藤さんと思い出の写真、そして開会式の入場券



佐藤さんが「今でも目に焼き付いている」と話してくれたのが、開会式の最後に行われた、婦人会のみなさんによる「ドンパン節」の披露。「ドンドンパンパン、ドンドンパン」のメロディに観客、選手が一体となって拍手を打ち、会場がひとつになったようでした。見ていてとても感動しました。あのシーンは忘れられません」と佐藤さん。選手たちをみんなが心を込めて歓迎した開会式。まごころ。国体ならではの式典だったようです。

二年後に迫った秋田わか杉国体。佐藤さんは、また開会式に行き、選手のみなさんが元氣に行進する姿を撮ってみたいですね。今からとても楽しみです」と話してくれました。